

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●斎藤崇史調教師と渡辺薰彦調教師がJRA初勝利をあげる

3月19日(土)の2回中京3日・第12レースではゴールドエッセンスが1着となり、同馬を管理する斎藤崇史調教師(栗東)はJRA初勝利をあげました。また3月21日(休・月)の2回中京4日・第7レースではドラゴンバローズが1着となり、同馬を管理する渡辺薰彦調教師(栗東)もJRA初勝利をあげました。ともに今年3月1日(火)の開業で、斎藤調教師は管理馬の出走5戦目、渡辺調教師は10戦目の初勝利でした。

●高橋義忠調教師がJRA通算100勝を達成

3月20日(祝・日)の1回阪神8日・第6レースではスノードリームが1着となり、同馬を管理する高橋義忠調教師(栗東)は、現役148人目となるJRA通算100勝(1048戦目)を達成しました。

●重賞ウイナー4頭の競走馬登録抹消

2014年サンケイスポーツ賞フローラS(GII)の勝ち馬サングレアル(牝5歳/栗東・池添学厩舎/JRA通算13戦2勝)、2015年京都ジャパンS(J・GIII)の勝ち馬ダンツミュータント(牡7歳/栗東・本田優厩舎/JRA通算35戦6勝)、2015年府中牝馬S(GII)の勝ち馬ノボリディアーナ(牝6歳/栗東・松永昌博厩舎/JRA通算24戦6勝)、2014年セントウルS(GII)などを勝ったリトルグルダ(牝7歳/栗東・鮫島一歩厩舎/JRA通算28戦7勝・海外1戦0勝)は、3月23日(水)までに競走馬登録を抹消されました。サングレアルは北海道安平町のノーザンファーム、ノボリディアーナは北海道千歳市の社台ファーム、リトルグルダは北海道安平町の追分ファームで繁殖馬となり、ダンツミュータントは三重県桑名市の多度乗馬クラブで乗馬となる予定です。

●香港の国際競走に日本馬4頭が出走

香港・シャティン競馬場で施行される国際競走に登録した日本馬のうち、4月24日(日)のクイーンエリザベス2世C(G1)にサトノクラウン(牡4歳/美浦・堀宣行厩舎)、ヌーヴォレコルト(牝5歳/美浦・斎藤誠厩舎)、ラブリーデイ(牡6歳/栗東・池江泰寿厩舎)が、5月1日(日)のチャンピオンズマイル(G1)にモーリス(牡5歳/美浦・堀宣行厩舎)が選出され、各馬の関係者が招待を受諾しました(3月24日現在)。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

I F H A(国際競馬統括機関連盟)から「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2016年1月1日から3月6日までに施行された世界の主要レースが対象で、中山記念を勝ったドゥラメンテが、カリforallニアクローム、ポストボンドと並んで首位タイ(121)に立ちました。このほか日本調教馬では、フェブラリーSを勝ったモーニンと、京都記念を勝ったサトノクラウンが第17位タイ(117)にランクインしています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●木之前前葵騎手が名古屋で重賞初制覇【各地の主要3歳重賞】

降雪のため1月から順延された新春ペガサスC(3月17日、名古屋、1600㍍)は、3番手からゴール前100㍍で先頭に立った単勝1.4倍で1番人気のカツゲキキトキト(牡、父スパイキール)が5馬身差で圧勝、スプリングCに続く重賞2連勝を達成しました。木之前前葵騎手はこれが重賞初制覇です。土佐春花賞(3月21日、高知、1300㍍)は、逃げた1番人気のキモンクラブ(駆、父コパノフウジン)が後続を半馬身振り切り、JRA1戦0勝から高知移籍後は6連勝。桜花賞(3月23日、浦和、1600㍍、牝馬)は、3~4番手の内目から直線でも最内を突いたモダンウーマン(父サウスヴィグラス)が残り150㍍を切った辺りで抜け出し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えて6度目の重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●香港ダービー~ワーザーが1番人気に応えてG1初勝利を飾る

1着賞金1044万香港ドル(約1億5100万円)の香港ダービー(4歳限定、ローカルG1、芝2000㍍)は3月20日にシャティン競馬場で行われ、単勝3.35倍のワーザー(ニュージーランド産、駆馬、父タヴィストック)が好位馬群の中から抜け出し、内から追い込むヴィクトリー・マジックにアタマ差をつけて優勝しました。良馬場の勝ちタイムは2分01秒76。勝利騎手H.ボウマン。J.ムーア調教師(オーストラリア出身)はタイレコードの5勝目、ここ3年で2度目の1、2着独占。ワーザーはニュージーランドとオーストラリアでG2各1勝など13戦4勝して香港へ移籍し、これで4戦2勝。ローカルG1の前2走、香港クラシックマイルと香港クラシックCは、いずれも僅差2着でした。

●豪G1ゴールデンスリッパー~3番人気のキャピタリスト勝つ

2歳戦で世界一の1着賞金200万豪ドル(約1億7100万円)を懸けたゴールデンスリッパー(芝1200㍍)は3月19日にローズヒル競馬場で行われ、キャピタリスト(牡、父リトゥンタイクーン)が勝ちました。これで5戦4勝、G1初勝利。